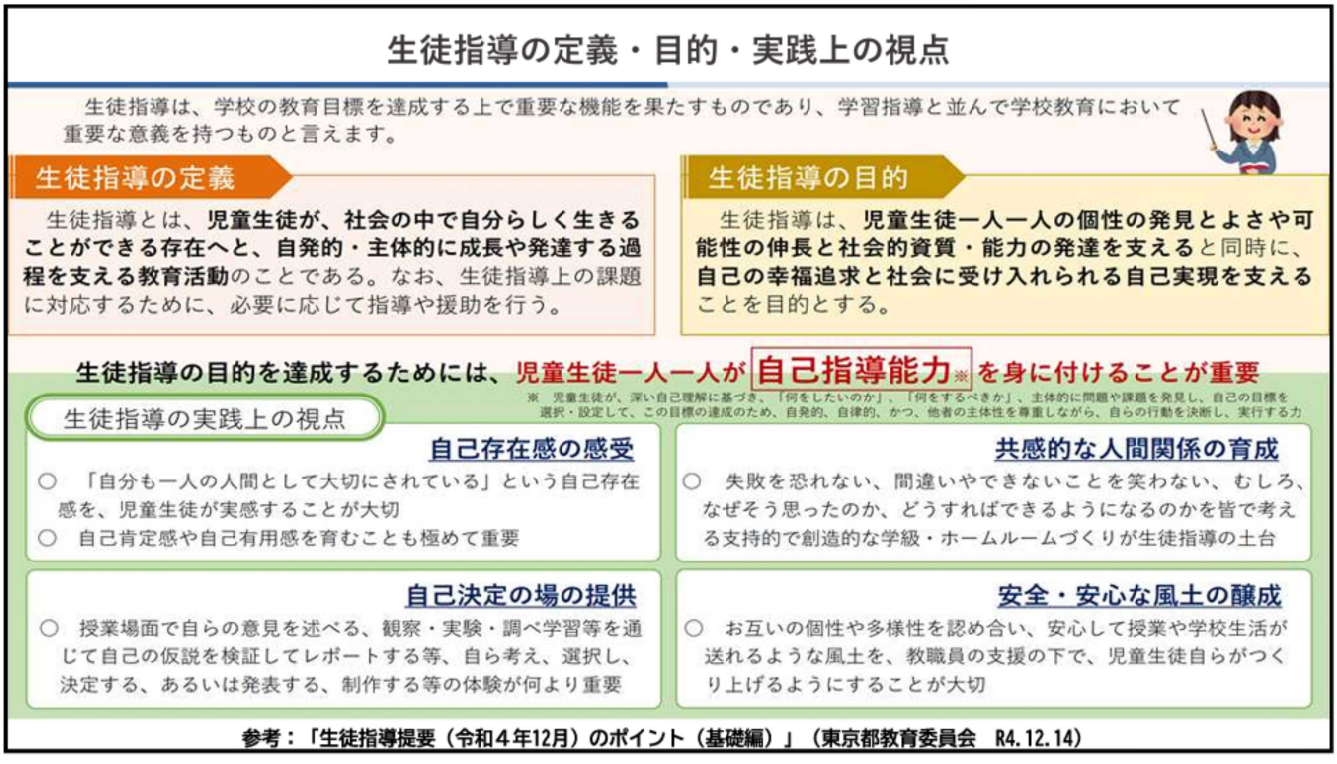
R7年度No.5　R7.5.9(金)　校長室から保護者の皆様へ　串高通信

5日(月)のこどもの日，童心に戻り，金山峠を越えて薩摩川内市まで歩いてみました。金山蔵の見学，そして試飲。その後は緩やかに続く上り坂を楽しみ，旭小学校へ。赤い屋根と平屋の木造校舎は，まるで映画に出てくるようなたたずまいです。これまでは国道から見ていたのですが，やはり間近で見ると新たな発見，いっそうの風情を感じます。

身近にある何気ないもの，ありふれたものから何かに気づくには，与えられた機会だけでなく，何らかの主体的行動が必要です。また，「百聞は一見にしかず」と言いますが，机上や2次元の世界では分からないことがたくさんあるものです。さらにそこから「なぜ」「どうして」という思考へと発展させる，これこそ「探究」的な学びの理想的な形であると考えます。

さて，今週は，私，所用で木，金は学校不在につき，串高の近況をお伝えできません。日置地区体育大会に出場したソフトテニスとバドミントンはどうだったのでしょうか？

今回は，生徒指導について，保護者の皆様と情報を共有します。以下は，文部科学省がR4．12月に改訂した「生徒指導提要」(生徒指導のガイドブックみたいなもの)の概要を簡潔にまとめたものです。



「生徒指導」という言葉に対しては，昔の「荒れた時代」のようなマイナスのイメージをお持ちではないでしょうか。生徒のエネルギーを押しつぶすのではなく，成長のチャンス場面において，どのように未来に向かわせていくか，つまり「自己指導能力」の育成を図ること。これが「生徒指導」の本来のあり方です。当然，串高もこのことを念頭に，引き続き家庭，地域等と連携しながら，教育活動に当たってまいります。

インスタ，ＦＢもご覧ください。串木野高校，頑張っています！（文責　立森）